



平成22年6月期 第3四半期決算短信

平成22年5月7日

上場会社名 株式会社 ビューティ花壇
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月10日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 三島美佐夫

(氏名) 須浪薫

TEL 03-5776-5850

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第3四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	3,019	6.7	128	—	133	—	53	—
21年6月期第3四半期	2,829	—	4	—	6	—	△27	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	2,170.64	2,127.70
21年6月期第3四半期	△1,104.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第3四半期	1,320	487	34.3	19,363.44
21年6月期	1,315	483	34.7	18,564.23

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 452百万円 21年6月期 456百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	0.00	—	345.00	345.00
22年6月期	—	0.00	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	—	—	1,213.00	1,213.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	7.4	230	277.0	240	269.2	100	—	4,043.16

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第3四半期	25,038株	21年6月期	24,600株
② 期末自己株式数	22年6月期第3四半期	1,670株	21年6月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年6月期第3四半期	24,490株	21年6月期第3四半期	24,548株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は業績の変化等により上記数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国経済を中心にアジア諸国の経済が順調に回復いたしました。一方、米国並びに欧州の景気も緩やかな回復に向かっていますが、それ以前の落ち込みが大きかったため、経済水準はなお低く、総じて厳しい状況が続きました。わが国経済も回復基調にあるとはいえ、一昨年来の欧米の景気後退の影響による企業収益の大幅減退を受けた設備投資の減少、所得の減少や雇用環境の悪化による個人消費の伸び悩み等から、景気低迷の長期化が懸念されております。当社の事業を取り巻く環境としましては、ブライダル需要は横ばい、件数が増えているフューネラル需要も単価が下落傾向であるため、花の需要はトータルで横ばいに留まっているものと思われまます。当社は、このような状況の中、全社基本方針として、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客内での当社への発注シェアアップによる売上アップ、徹底的な経費削減を引き続き推進してまいりました。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、生花祭壇事業、生花卸売事業ともに堅調に推移し、3,019,476千円（前年同期比6.7%増）となりました。売上総利益については、仕入原価の上昇及び技術部門費の増加はあったものの売上増に伴う増加により、688,240千円（前年同期比14.9%増）となりました。販売費及び一般管理費については、人件費や広告宣伝費を抑え560,225千円（前年同期比5.8%減）となりました。その結果、営業利益は128,014千円（前年同期は4,329千円の利益）となりました。また、経常利益は133,447千円（前年同期は6,802千円の利益）、四半期純利益は法人税等調整額や少数株主利益により53,160千円（前年同期は27,107千円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

（生花祭壇事業）

生花祭壇事業の売上高は、2,286,340千円（前年同期比1.3%増）となりました。当事業が主として属する葬祭業界におきましては、消費者の支出は景気動向の影響は直接的には受けにくいといわれておりますが、経済産業省「特定サービス産業動態統計速報」（サンプル調査）によると、葬儀業の平成21年7月から平成22年2月の売上高は326,968百万円（前年比1.8%減）、件数は220,013件（前年比0.8%減）となっております。このような状況のもと前述の全社基本方針の徹底により、当社の当第3四半期連結累計期間における国内の生花祭壇の受注件数は、前年より800件増えて12,952件（前年比6.6%増）となり、大幅に増加しました。この結果、営業利益は345,020千円（前年同期比4.4%増）となりました。

（生花卸売事業）

生花卸売事業の売上高は、586,724千円（前年同期比21.4%増）となりました。当事業の主要顧客が属する生花小売業界におきましては、スーパーマーケットにおける低価格カジュアルフラワー販売や大手生花チェーン店の台頭により、営業状況は厳しい状態といわれており、農林水産省「花き流通統計」（平成22年2月分）によると、切り花累計の数量は前年比で2.7%減となっております。このような状況のもと、昨年からの取り組みでまいりました生花の海外調達も軌道に乗り、平成21年7月から平成22年3月の累計期間における輸入本数は472万本と前年同期の370万本より生花の輸入割合は4.4ポイント増加しました。また、前述の全社基本方針の徹底により、営業利益は113,434千円（前年同期比88.6%増）となりました。

（その他事業）

その他事業は、ブライダル事業及びプランツスケープ事業からなり、売上高は146,411千円（前年同期比62.7%増）となりました。営業損失は10,612千円（前年同期は40,772千円の損失）となりました。連結子会社の株式会社クラウンガーデネックスにおいて、生花仕様の見直し、生花仕入れルートの多様化等による仕入原価の低減、新規顧客の開拓による売上拡大をしたことにより、大幅な収益の改善がみられました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,358千円増加し、1,320,014千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ52,869千円増加し、764,198千円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加等によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ48,510千円減少し、555,816千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、832,040千円（前連結会計年度末は832,045千円）となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ33,187千円減少し、609,516千円となりました。これは主に短期借入金の減少等によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ33,182千円増加し、222,523千円となりました。これは主に長期借入金の増加等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4,363千円増加し、487,974千円となりました。これは主に利益剰余金の増加と自己株式の取得によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は221,593千円となり、前連結会計年度末と比べ7,190千円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は86,670千円（前年同期は26,521千円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益109,772千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は38,603千円（前年同期は82,962千円の使用）となりました。これは主に有価証券の償還による収入60,000千円と有形及び無形固定資産の取得による支出20,257千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は132,064千円（前年同期は34,606千円の獲得）となりました。これは主に社債の償還による支出105,000千円と自己株式の取得による支出52,968千円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済の見通しにつきましては、景気回復の持続が期待される一方で、依然として不透明感は強く、葬儀業界におきましても、顧客需要が低価格志向へシフトする中、商品開発・価格競争の激化が予想されるなど、当社を取り巻く環境は予断を許さない状況が継続するものと思われまます。このような状況のもと、新たに事業開発本部を設置し、収益構造の抜本的な見直し、商品開発面、マーケティング面の強化をより一層推進してまいります。当社事業をとりまく環境は今後一段と厳しくなると思われまますが、業績は概ね予想通りに推移しており、現時点では平成22年2月3日に発表いたしました平成22年6月期通期業績予想からの修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

前第3四半期連結会計期間において、投資その他の資産の「その他」に含めて表示しておりました「差入保証金」は、資産総額の100分の10を超えたため、当第3四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結会計期間の投資その他の資産の「その他」に含まれる「差入保証金」は111,680千円であります。

前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「不動産賃貸費用」は重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「不動産賃貸費用」は3,425千円であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	221,593	228,784
受取手形及び売掛金	441,271	352,990
有価証券	—	60,000
商品	3,441	3,494
仕掛品	885	—
原材料及び貯蔵品	17,555	10,282
その他	85,243	60,305
貸倒引当金	△5,791	△4,528
流動資産合計	764,198	711,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	121,590	117,624
減価償却累計額	△52,132	△44,539
建物及び構築物 (純額)	69,457	73,084
工具、器具及び備品	138,053	124,771
減価償却累計額	△94,003	△81,974
工具、器具及び備品 (純額)	44,050	42,797
土地	122,842	122,842
その他	8,138	8,160
減価償却累計額	△7,303	△6,816
その他 (純額)	835	1,344
有形固定資産合計	237,185	240,068
無形固定資産	44,332	66,513
投資その他の資産		
差入保証金	146,023	159,496
その他	147,938	152,405
貸倒引当金	△19,663	△14,157
投資その他の資産合計	274,298	297,744
固定資産合計	555,816	604,326
資産合計	1,320,014	1,315,656

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	92,385	64,542
短期借入金	132,400	230,000
未払法人税等	38,429	4,201
賞与引当金	22,301	—
株主優待引当金	—	3,500
その他	323,999	340,459
流動負債合計	609,516	642,704
固定負債		
社債	70,000	115,000
長期借入金	135,800	51,940
退職給付引当金	10,610	9,762
その他	6,113	12,639
固定負債合計	222,523	189,341
負債合計	832,040	832,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	211,530	209,340
資本剰余金	131,530	129,340
利益剰余金	169,774	125,100
自己株式	△52,968	—
株主資本合計	459,865	463,780
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△7,381	△7,100
評価・換算差額等合計	△7,381	△7,100
少数株主持分	35,489	26,930
純資産合計	487,974	483,610
負債純資産合計	1,320,014	1,315,656

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	2,829,650	3,019,476
売上原価	2,230,737	2,331,236
売上総利益	598,913	688,240
販売費及び一般管理費	594,583	560,225
営業利益	4,329	128,014
営業外収益		
受取利息	1,854	1,034
受取地代家賃	6,628	8,250
その他	6,559	6,522
営業外収益合計	15,042	15,807
営業外費用		
支払利息	4,888	5,598
不動産賃貸費用	3,425	2,996
その他	4,253	1,779
営業外費用合計	12,568	10,374
経常利益	6,802	133,447
特別利益		
償却債権取立益	—	339
特別利益合計	—	339
特別損失		
前期損益修正損	—	15,558
支社閉鎖損失	2,314	—
リース解約損	—	7,129
その他	284	1,325
特別損失合計	2,598	24,014
税金等調整前四半期純利益	4,203	109,772
法人税、住民税及び事業税	31,972	53,434
法人税等調整額	1,839	△5,662
法人税等合計	33,811	47,772
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△2,499	8,839
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△27,107	53,160

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,203	109,772
減価償却費	49,797	42,723
のれん償却額	2,634	—
長期前払費用償却額	752	5,928
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,270	6,772
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25,469	22,301
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,181	847
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△3,075	△3,500
受取利息	△1,854	△1,034
受取賃貸料	△6,628	△8,250
助成金収入	△2,220	△2,130
支払利息	4,888	5,598
不動産賃貸費用	—	2,996
支社閉鎖損失	2,314	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△30,494	△88,539
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,094	△8,103
その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,997	△2,270
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	2,786	△8,378
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,347	27,963
その他の負債の増減額 (△は減少)	△35,729	△4,636
その他	4,316	2,973
小計	32,514	101,033
利息の受取額	2,701	1,527
賃貸料の受取額	4,342	6,394
助成金の受取額	2,220	2,130
利息の支払額	△4,990	△5,748
支社閉鎖による支出	△2,314	—
法人税等の支払額	△60,994	△18,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,521	86,670
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	60,000
貸付けによる支出	△49,200	△6,084
貸付金の回収による収入	27,496	5,122
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,099	△20,257
投資有価証券の取得による支出	△5,712	△2,000
差入保証金の差入による支出	△52,656	△7,777
差入保証金の回収による収入	4,209	9,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,962	38,603

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	662,241
短期借入金の返済による支出	△40,000	△759,841
長期借入れによる収入	50,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△105,095	△65,694
社債の発行による収入	50,000	—
社債の償還による支出	△100,000	△105,000
株式の発行による収入	340	4,380
自己株式の取得による支出	—	△52,968
配当金の支払額	△8,392	△8,487
その他	△12,246	△6,693
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,606	△132,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,342	△400
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△80,220	△7,190
現金及び現金同等物の期首残高	275,682	228,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	195,462	221,593

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)

	生花祭壇 事業 (千円)	生花卸売 事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,256,286	483,383	89,979	2,829,650	—	2,829,650
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	704,214	35,511	739,726	△739,726	—
計	2,256,286	1,187,598	125,491	3,569,376	△739,726	2,829,650
営業利益 (又は営業損失 (△))	330,417	60,145	△40,772	349,790	△345,460	4,329

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

	生花祭壇 事業 (千円)	生花卸売 事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,286,340	586,724	146,411	3,019,476	—	3,019,476
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,493	692,739	11,943	710,176	△710,176	—
計	2,291,833	1,279,463	158,355	3,729,653	△710,176	3,019,476
営業利益 (又は営業損失 (△))	345,020	113,434	△10,612	447,842	△319,827	128,014

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) 生花祭壇事業……生花祭壇、供花
- (2) 生花卸売事業……菊、胡蝶蘭などの生花
- (3) その他 ……ブライダル、ギフトなどの祝事に関する生花、園芸装飾等の緑化事業商品

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,753,961	75,688	2,829,650	—	2,829,650
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	54,256	54,256	△54,256	—
計	2,753,961	129,944	2,883,906	△54,256	2,829,650
営業利益	342,264	6,140	348,404	△344,075	4,329

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,907,402	112,074	3,019,476	—	3,019,476
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,000	88,178	96,178	△96,178	—
計	2,915,402	200,252	3,115,655	△96,178	3,019,476
営業利益	405,312	37,005	442,317	△314,302	128,014

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域
アジア…… 台湾

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日) 及び当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期連結累計期間において、取締役会決議に基づき、自己株式を1,670株、52,968千円を取得いたしました。